

科目ナンバー	LIN-2-018-j			科目名	言葉と表現		
教員名	佐藤 高司			開講年度学期	2020年度 後期	単位数	2
概要	前半では現代日本語の基礎的な知識を確認しながら学び、後半では「敬語」に特化して学びを深めます。言葉は、社会状況や時代とともに変化するものです。日本語や敬語の学びを通して、受講者自身の言語意識を確立し、言語感覚を養い、社会や時とともに変わる言語表現の面白さにも気づいてほしいと願っています。「日本語検定」2級への挑戦を応援します。						
到達目標	国際社会に生きる日本語の使い手、小学校教師、日本語教師、社会人として、日本語や言語に関する教養を高めることを目指します。待遇表現に対する正しい認識はもちろんのこと、言葉の変化の動態を正確に見極める視点を持ち、自分なりの言語意識や言語感覚を確立することを目指します。また、小学校教師、日本語教師、社会人として、「日本語検定」2級程度の日本語力を有することを目指します。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識	○	自己を理解する力		伝え合う力	○	分析し、思考する力	
共生のための態度		自己を抑制する力		協働する力		構想し、実行する力	○
グローバル・マインド		主体性	○	関係を構築する力		実践的スキル	○
教授法及び課題のフィードバック方法	<教授法> 前半では、教科書をもとに現代日本語について学びます。具体的に日本語についての問題を検討します。 後半では、前半の学びを踏まえ、「敬語の指針」をもとに「敬語」絞って発表形式で、学びを深めます。 <フィードバック方法> 前半では、質疑の時間を設け理解を促します。 後半では、発表会では補足及びコメントを行い、総評を伝えます。						
アクティブラーニング	○	サービ斯拉ーニング		課題解決型学修			○
受講条件 前提科目	小学校教員免許取得希望者、日本語教師プログラム受講者が優先的に受講できます。第1回～第3回の授業は必ず出席すること。パワーポイントの基本的操作ができること。発表日に欠席した場合は、単位を取得することはできません。						
アセスメントポリシー及び評価方法	<アセスメントポリシー> 「共生のための知識」については試験で評価します。 「主体性」については平常点・授業での意見交換や討論への取り組みで評価します。 「伝え合う力」については、発表で評価します。 「構想し、実行する力」「実践的スキル」については、発表資料とその内容で評価します。 <評価方法> 平常点・授業での意見交換や討論への取り組み(40%) 発表2回(20%) 発表資料(10%) 試験(40%) 受講期間中に「日本語検定」2級合格者は、「優(A)」または「秀(S)」となります。						
教材	名古屋大学日本語研究会GK72009『スキルアップ!日本語力一大学生のための日本語練習帳』東京書籍 ダウンロード教材文化審議会答申2007「敬語の指針」(http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashin/gikai/sokai/sokai_6/pdf/keigo_tousin.pdf#search=%27E6%95%AC%E8%AA%9E%E3%81%AE%E6%8C%87%E9%87%9D%27)						
参考図書	川本信幹(監修)2008『日本語検定 これならわかる図解日本語』東京書籍 井上史雄1999『敬語はこわくない最新用例と基礎知識』講談社現代新書 井上史雄2007『その敬語では恥をかく!』PHPハンドブック 井上史雄2017『新・敬語論 なぜ「乱れる」のか』NHK出版						
内容・スケジュール							
1週目							
授業学修内容	ガイダンス(授業の概要・シラバスの説明) 第1回レポート出題<日本語または敬語に関する自己紹介を作成し発表する> ①日本語・敬語に関する体験談(失敗・憧れ等) ②自分の日本語・敬語に関する知識や技能						

	③自分が日本語・敬語に関して学びたいこと		
授業外学修内容	日本語・敬語に関する自分自身の知識を確認のため、まとめてみよう。日本語・敬語に関する自己紹介のパワーポイント資料を完成させて、発表(5分)の練習をしよう。	時間数	2
2週目			
授業学修内容	第1回レポート発表①		
授業外学修内容	予習として教科書を読み、不明な点を明らかにしておこう。	時間数	1
3週目			
授業学修内容	講義 敬語(敬語の種類と使い分け;注意すべき敬語 ほか)①		
授業外学修内容	復習として講義内容をまとめておこう。予習として教科書を読み、不明な点を明らかにしておこう。	時間数	1
4週目			
授業学修内容	講義 文法(品詞・活用の種類;ら抜き言葉・レタス言葉・さ入れ言葉 ほか)①		
授業外学修内容	復習として講義内容をまとめておこう。予習として教科書を読み、不明な点を明らかにしておこう。	時間数	1
5週目			
授業学修内容	講義 語彙・言葉の意味(類義語・対義語;動詞の自他・視点 ほか)①		
授業外学修内容	復習として講義内容をまとめておこう。予習として教科書を読み、不明な点を明らかにしておこう。	時間数	1
6週目			
授業学修内容	講義 漢字・表記(部首・音訓・熟語;仮名遣い・送り仮名)①		
授業外学修内容	復習として講義内容をまとめておこう。予習として教科書を読み、不明な点を明らかにしておこう。	時間数	1
7週目			
授業学修内容	講義 敬語(敬語の種類と使い分け;注意すべき敬語 ほか)②		
授業外学修内容	復習として講義内容をまとめておこう。予習として教科書を読み、不明な点を明らかにしておこう。	時間数	1
8週目			
授業学修内容	講義 文法(品詞・活用の種類;ら抜き言葉・レタス言葉・さ入れ言葉 ほか)②		
授業外学修内容	復習として講義内容をまとめておこう。予習として教科書を読み、不明な点を明らかにしておこう。	時間数	2
9週目			
授業学修内容	講義 語彙・言葉の意味(類義語・対義語;動詞の自他・視点 ほか)②		
授業外学修内容	復習として講義内容をまとめておこう。予習として教科書を読み、不明な点を明らかにしておこう。	時間数	1
10週目			
授業学修内容	講義 漢字・表記(部首・音訓・熟語;仮名遣い・送り仮名)②		
授業外学修内容	復習として講義内容をまとめておこう。予習として教科書を読み、不明な点を明らかにしておこう。	時間数	1
11週目			
授業学修内容	第2回レポート出題<「敬語の指針」をもとに、敬語の適切な選び方、具体的な場面での敬語の使い方について、パワーポイントを作成し、発表する> 担当箇所の決定、資料作り		
授業外学修内容	「敬語の指針」の担当箇所について、パワーポイント資料を完成させて、発表の練習をしよう。	時間数	1
12週目			
授業学修内容	「敬語の指針」7～15の発表、敬語おもしろ相談室		
授業外学修内容	復習として発表内容をまとめておこう。予習として「敬語の指針」を読み、不明な点を明らかにしておこう。	時間数	1
13週目			
授業学修内容	「敬語の指針」16～26の発表、敬語おもしろ相談室		

授業外学修内容	復習として発表内容をまとめておこう。予習として「敬語の指針」を読み、不明な点を明らかにしておこう。	時間数	1
14週目			
授業学修内容	「敬語の指針」27～36の発表、敬語おもしろ相談室		
授業外学修内容	復習として発表内容をまとめておこう。予習として「敬語の指針」を読み、不明な点を明らかにしておこう。	時間数	1
15週目			
授業学修内容	まとめ(総合問題)		
授業外学修内容	これまでの学習を振り返り、試験の準備をしよう。	時間数	1
上記の授業外学修時間の合計		17	
その他に必要な自習時間		73	

Number	LIN-2-018-j	Subject	Words and Expressions		
Name	佐藤 高司 (Sato Takashi)	Year and semester	S Second semester for 2020	Credits	2
Course outline	<p>In the first half, students will study while learning basic knowledge of modern Japanese, and in the second half, they will focus on "honorifics" to deepen their learning. Language changes with social situations and times. Through studying Japanese and honorifics, we hope that students will establish their own linguistic awareness, develop their linguistic sensation, and become aware of the fun of linguistic expression that changes with society and time. We support the challenge of the Japanese Language Proficiency Test Level 2.</p>				